

求人広告、人材サービス手掛ける

投資判断 (11/19)

クイック (4318・東証1部)

BUY 継続

株価	投資単位	時価総額	年初来高値	年初来安値	PER(予)
909円 (11/19)	100株	173.6億円 (11/19)	1,280円 (14/9/3)	490円 (14/5/13)	18.6倍 (11/19)

利益見通しを上方修正、想定株価レンジ引き上げ

■15年3月期上半期業績は過去最高

15年3月期上半期(14年4-9月)連結業績は、売上高が前年同期比15.5%増の5,779百万円、営業利益が同25.6%増の1,138百万円だった。売上高は7年ぶり、営業利益は4年連続で過去最高を更新した。求人倍率が高止まりするなど需要のひっ迫が続いた他、看護師向けサービスが成長。10月23日に業績予想を上方修正しているが、期首の上半期計画値(売上高5,409百万円、営業利益867百万円)を上回った。

2Q(四半期)のセグメント別売上高は情報出版以外で増収となり、人材サービス事業が前年同期比27.4%増と好調だった他、リクルーティングが同4.2%増、その他が同8.4%増と底固く推移した。上期のリクルーティング事業の営業利益率は21.3%、人材サービスは34.0%、全体で19.7%(前年同期は18.1%)と高い利益率を維持。人材サービスでは登録者獲得にかかるコストは増加していると見られるが、人材不足が深刻化している特定職種(看護師や建設業界)では、紹介料がコスト増加分を補い利益率の下支えとなっているようだ。

■下期は依然保守的、上ブレ余地残す

上方修正後の15年3月期会社計画の通期業績は売上高が前期比11.4%増の11,370百万円、営業利益は同30.3%増の1,347百万円。下期の予想売上高は前年同期比7.6%増の5,590百万円と上期の5,779百万円からは減少する見通し。そもそも、就職が活発化する時期である上期偏重型であることや、今期は新卒の就職・採用活動開始時期の変更に伴い収益の一部が来期にズレ込むことが想定されていることが要因。利益面では下期は来年上期のサイト登録者獲得のため広告宣伝を積極的に行うことなどからコストが増加、人材サービス事業は赤字見通し。さらに、業務拡大に伴い人員を積極的に採用する方針を示しており、下期全体の営業利益率は3.7%(前年同期は2.5%)を予想している。ただ、リクルーティング事業では、旺盛な需要が継続することが想定され、



上ブレ余地がある。モーニングスターでは15年3月期の予想売上高を前期比12.7%増の11,500百万円と据え置くが、上期に予想以上の利益が計上されたことや、良好な市場環境を背景にリクルーティング事業が好調、会社計画はやや保守的と見ていることから、**予想営業利益を前期比35.4%増の1,400百万円(従来予想は1,220百万円)に上方修正した。**

人材サービス業界の活況や好調な業績を背景に株価は堅調に推移、6月3日時点の想定株価レンジ700~800円を上回って推移している。ただ、今期モーニングスター予想EPS(50.6円)ベースの19日終値はPER17倍台と競合他社に比べて依然割高感はない。業績予想は依然保守的で上ブレ余地がある上、今期予想配当年間20円(記念配5円を含む)と大幅に増配(前期は記念配2円を含む13円)される見通しなど、積極的な株主還元姿勢もプラス材料。予想配当利回りは2.2%と高い。投資判断は「BUY」継続。想定株価レンジを従来の700~800円から1,000~1,200円に引き上げる。

(宮本 裕之)

業績動向 (11/19時点)

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS(円)
13年3月期 実績	8,708	12.5	658	21.8	763	33.8	473	32.5	25.3
14年3月期 実績	10,202	17.2	1,033	57.1	1,078	41.1	665	40.7	35.5
15年3月期 会社予想	11,370	11.4	1,347	30.3	1,430	32.6	920	38.2	49.0
MS 予想	11,500	12.7	1,400	35.4	1,480	37.3	950	42.8	50.6
16年3月期 MS 予想	12,500	8.7	1,550	10.7	1,570	6.1	1,000	5.3	53.2

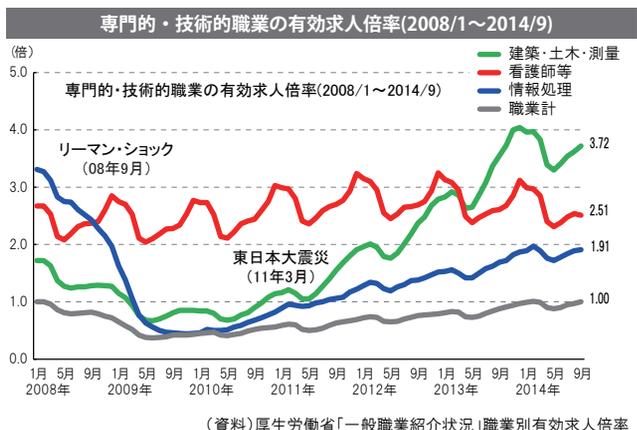
本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしました。その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

■ 会社概要

関西地盤の人材サービス会社。リクルート出身の和納勉社長が、リクルートの求人広告掲載枠を取扱う代理店として設立した。セグメント別では、リクルートのメディアを活用した人材採用広告が主体のリクルーティング事業。看護師専門サイト「看護roo!」(カンゴルー)を主体に、建設業界へ特化した「建設・設備求人データベース」、技術者向け「技術士求人データベース」など専門性に特化した求人サイトを展開する人材紹介サービス。人材派遣や紹介予定派遣などアウトソーシング事業も手掛けている。また、石川、富山、福井の北陸3県と新潟県を中心に雑誌やウェブなどを手掛ける情報出版事業がある。その他事業では、人事担当者向けのウェブサイト「日本の人事部」や、海外事業を手掛けている。海外事業では米国のQUICK USA, INC.が自動車やシェールガス業界の恩恵を受け、中西部への派遣要請が好調。ただ、中国は外資の社会保険料増額などで中国人労働者への置き換えが進んでおり苦戦。ベトナムにも拠点を設立、インドシナ諸国での人材サービスなど新たな収益拡大の可能性を模索している。

■ 事業環境と展望

アベノミクスによる景気回復を背景に、労働市場の需給がひっ迫している。厚生労働省がまとめた9月の有効求人倍率(季節調整済)は1.09倍と前月から0.01ポイント低下。11年5月以来3年4カ月ぶりに前月から低下したものの、依然として高水準を維持している。特に専門的・技術的な職業の有効求人倍率は建築・土木・測量で3.72倍、看護師等で2.51倍と完全な人手不足の状態。もっとも、労働市場における需給のひっ迫は当社にとってすべてプラスに働くとは限らない。例えば、看護師マーケットは看護師資格を保有し就業していない層も含め約200万人とされており、マーケット自体が拡大しているわけではない。競争激化により登録者獲得にかかるコストが上昇しており、利益率の悪化を招く可能性もある。ただ、当社は業界認知度の高いサイト「看護roo!」などを運営しており、競争優位性は高く、現時点では需給のひっ迫がプラスに働いている。



看護roo! トップページ: <http://kango.919.co.jp/>

■ リスク要因

リクルーティング事業、人材サービス事業、情報出版事業、その他(ネット関連事業・海外事業)を展開しているが、いずれも参入障壁が低い事業となっており、ベンチャー企業から大企業まで競争が激化している。今後一段と競争が激しくなった場合は、業績に悪影響を及ぼす可能性がある。また、リクルーティング事業で取り扱う求人広告掲載枠は、一部を除きリクルート社の求人広告媒体に掲載されるもので、リクルートへの事業依存度は高い。人材サービス事業の看護師紹介は、入退社や配置転換と連動した人事異動が行われる年度初め(4月)に集中する傾向がある。一方で、リクルーティング事業などは新卒採用商品の販売などが増える下期に利益が偏る傾向がある。

株主還元 (11/19時点)

■ 配当の状況

		1株当たり配当金		
		中間期末	期末	年間
13年3月期	実績	4円	4円	8円
14年3月期	実績	5円	8円	13円
15年3月期	会社予想	12円	8円	20円

※14年3月期期末配当は普通配6円、記念配2円
 ※15年3月期中間配当は普通配7円、記念配5円

■ 株主優待

毎年3月31日現在、100株以上保有の株主を対象。
 100株以上 500株未満 クオカード 500円分
 500株以上 1,000株未満 クオカード 1,000円分
 1,000株以上 5,000株未満 クオカード 2,000円分
 5,000株以上 クオカード 2,000円分、
 浅原千代治氏監修のオリジナルガラス工芸品

本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料に掲載された意見は作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。本資料に掲載された意見・データは、当社が信頼できると判断したデータ等により作成いたしました。その正確性、安全性等について保障するものではありません。著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

競合他社比較 (赤太字は競合他社に比べ優位な数値) (11/19時点)

	クイック (4318・東証1部)	SMS (2175・東証1部)	ディップ (2379・東証1部)	
基本事項	株価	909円	2,443円	3,430円
	投資単位	100株	100株	100株
	最低投資金額	90,900円	244,300円	343,000円
	決算月	3月	3月	2月
株価指標	PER(予)	18.6倍	29.3倍	22.9倍
	PBR(実)	5.5倍	8.3倍	8.8倍
	配当利回り(予)	2.2%	-	1.3%
成長性	売上高成長率(予)	11.4%	30.0%	32.0%
	営業利益成長率(予)	30.3%	10.1%	75.9%
	EPS成長率(予)	38.1%	24.3%	76.4%
収益性	売上高営業利益率(予)	11.8%	12.2%	17.5%
	自己資本当期純利益率(実)	23.3%	24.7%	24.2%
	総資産経常利益率(実)	22.4%	30.5%	25.2%
財務安定性	自己資本比率(実)	60.1%	71.5%	56.0%
	デット・エクイティ・レシオ(実)	9.9%	0.0%	18.5%
	流動比率(実)	194.1%	248.2%	159.9%

競合には介護・医療分野に求人情報サイトを運営するSMS(2175)、アルバイトサイトに強みを持つディップ(2379)を挙げた。

■ 成長性

15年3月期の予想連結業績は、売上高が前期比11.4%増、営業利益は同30.3%増と5期連続の増収増益見通し。営業利益は前期に続き連続で過去最高益、売上高も08年3月期の11,435百万円を視界に捉える。

好調な業績を背景に、当社は中期経営計画を見直し、17年3月期には売上高13,000百万円(前回発表値から変更なし)、営業利益は1,625百万円(前回発表値から155百万円増)と利益見通しを増額修正した。専門職を中心とした労働市場の需給ひっ迫感は当面続くと予想されており、事業環境は良好。15年3月期も2ケタの増収増益予想と成長性は高い。

■ 収益性

14年3月期の売上高営業利益率は10.1%と前期の7.6%から大幅に上昇、15年3月期の予想営業利益率も11.8%と高水準を維持する見通し。15年3月期下期は来年の入職シーズンに向けたプロモーション費用を厚くする他、業務拡大に伴い人員増を図るため、利益率は上期に比べ大幅に低下する見通しだが、こうした投資は来季以降の収益拡大に貢献してくる。通期で見た場合の収益性については競合他社と遜色のない水準。

■ 財務安定性

14年3月期の自己資本比率は60.1%と13年3月期の58.6%から上昇。負債の圧縮に加え、自己資本の増加で、デットエクイティレシオは9.9%と前期の15.0%から低下している。流動比率も194.1%と200%に迫る水準で、財務面に不安はない。

モーニングスター株式会社
調査分析部 株式分析室 アナリスト 宮本裕之
03-6229-0810 hmiyamoto@morningstar.co.jp

モーニングスター・エクイティ・リサーチレポートの読み方

特徴

(1) 第三者機関として中立的な立場を重視

モーニングスター・エクイティ・リサーチレポートは、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場を重要視し、客観的な比較・評価情報の提供に努めています。モーニングスターがカバーする全銘柄に対し、アナリスト個人の見解に加え、複数のアナリストから成る銘柄評価委員会の意見を反映し、投資判断・想定株価レンジ・業績予想を決定しています。

(2) カバー銘柄のユニバース

カバー銘柄は下記対象銘柄から銘柄評価委員会が選出しています。

【銘柄選定基準】

- アナリストのカバー率が低い国内新興市場上場銘柄
- 個人投資家からの人気が高い銘柄（各オンライン証券のデータを参考）
- 時価総額を考慮（50億円程度以上を目安）
- 整理、監理銘柄や継続疑義、債務超過銘柄を除く

(3) 3段階の投資判断

カバー銘柄に対する投資判断は、モーニングスターの各アナリストによる調査・取材・分析を基に銘柄評価委員会の協議を経て決定しています。下記の基準を基に3段階（最上位から「BUY」（強気）、「HOLD」（中立）、「SELL」（弱気））で予測しています。

BUY（強気）：今後、半年間の株価推移が現値水準を15%以上上回ると予測される場合

HOLD（中立）：今後、半年間の株価推移が現値水準の-15%～+15%にとどまると予測される場合

SELL（弱気）：今後、半年間の株価推移が現値水準を15%以上下回ると予測される場合

モーニングスターでは業績見通しや財務状況、株価の値動きなどに関する見解の変更により、機動的に投資判断を変更します。ただし、影響力のある、新しい情報が明らかとなり、判断に時間を要する場合には投資判断を「Under Review」（保留）とする場合があります。また、取引時間中の投資判断の変更は行いません。アナリストが退職した場合などは投資判断をいったん「Suspension」（停止）とする可能性があります。

(4) 中期的な想定株価レンジ

向こう半年間で想定される株価のレンジを示します。株価指標などを用いた適正株価水準のほか、チャートのフシ目や直近の高値・安値、トレンドライン、移動平均線などテクニカル面や価格帯別出来高なども考慮して、中期的な上値メド、下値メドを決定しています。

項目説明

■ アナリストコメント

直近の業績動向や事業環境について、取材に基づいた評価をコメントしています。投資判断の根拠や業績予想に対する見方、今後の事業展望などを記載し、株式投資をするうえで最も重要な情報を掲載しています。また、読みやすさを考慮してテーマごとに2～4つのパラグラフにまとめているほか、重要なポイントを太字で強調しております。

■ 業績動向

通期決算の実績2期分と会社予想、およびモーニングスターの独自予想を今期、来期の2期分掲載しております。各銘柄への取材に加え、四半期毎での過去の業績傾向やセグメント毎での分析に基づいて業績数値を予測しています。

■ 会社概要

各銘柄がどのようなビジネスを展開しているのか、どこに収益源があるのかなどを詳しく解説するほか、今後どの事業に力を入れていくのか、中期的にはどのような事業展開を図っていくのかなどの中期的な見通しも取材を踏まえて掲載します。

■ 事業環境と展望

各銘柄が属する業界について、足元の状況や将来の成長性などの観点から解説します。競合他社への取材も実施することで業界全体を多方面から捉えるほか、業界団体のデータなど具体的な数値も掲載します。

■ リスク要因

各銘柄が有するリスクを解説します。事業面でのリスクに加え、業績面や財務面、株式市場独自のリスクなども考慮して様々な角度から見たリスクを示します。

■ 成長性

今期会社計画の売上高成長率、営業利益成長率、EPS成長率を競合他社と比較するほか、過去の経緯や主力事業の成長力などを評価します。

■ 収益性

今期会社計画の売上高営業利益率と前期実績の自己資本当期純利益率、総資産経常利益率を競合他社と比較するほか、過去からの収益性の変動などを評価します。

■ 財務安定性

前期実績の自己資本比率、デット・エクイティ・レシオ（＝有利子負債 / 自己資本 × 100）、流動比率（＝流動資産 / 流動負債 × 100）を競合他社と比較するほか、現預金やキャッシュフローなどの観点から財務安定性を評価します。